

(1) 現天守閣解体と木造天守復元に伴う仮設計画

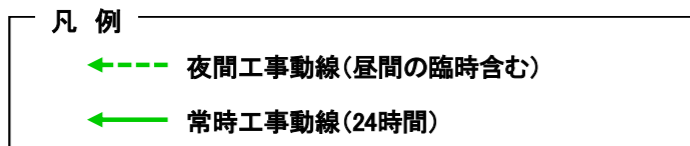
■ 工事動線の推移

各工事段階における工事動線の推移を示す。基本的には一般観覧者と工事車両の動線を分離して一般観覧者の安全を第一とする。

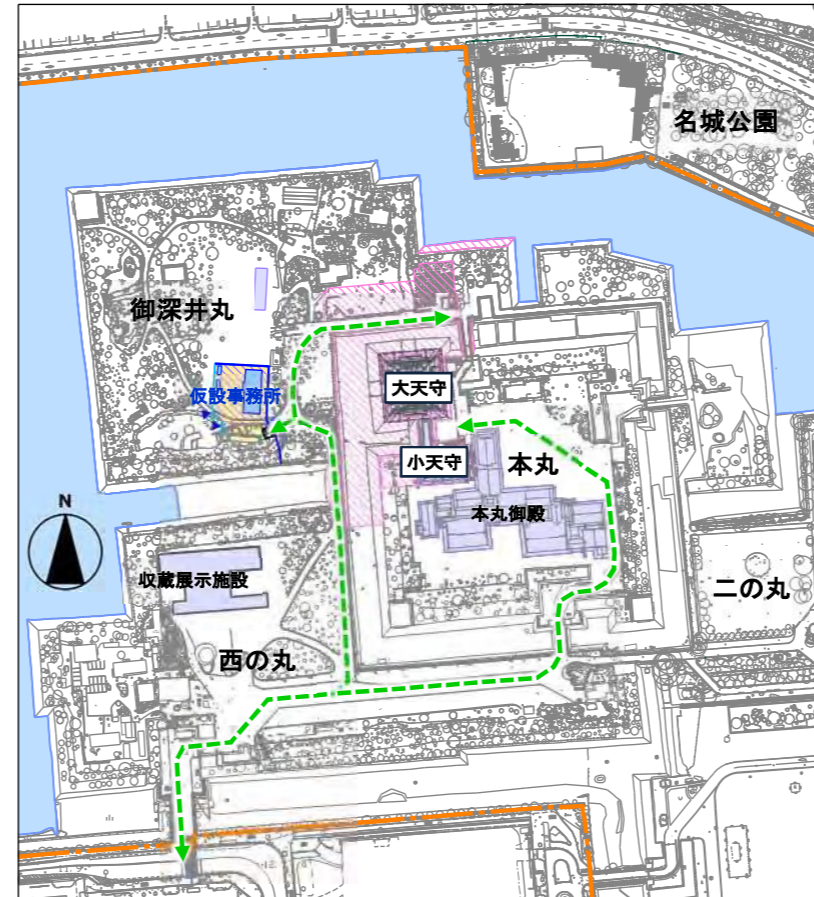
基本的な分離の方法は以下の通り。

- ・構台・栈橋・スロープといった専用通路による分離
- ・仮囲い等の区画による分離
- ・夜間通行等の時間帯の分離

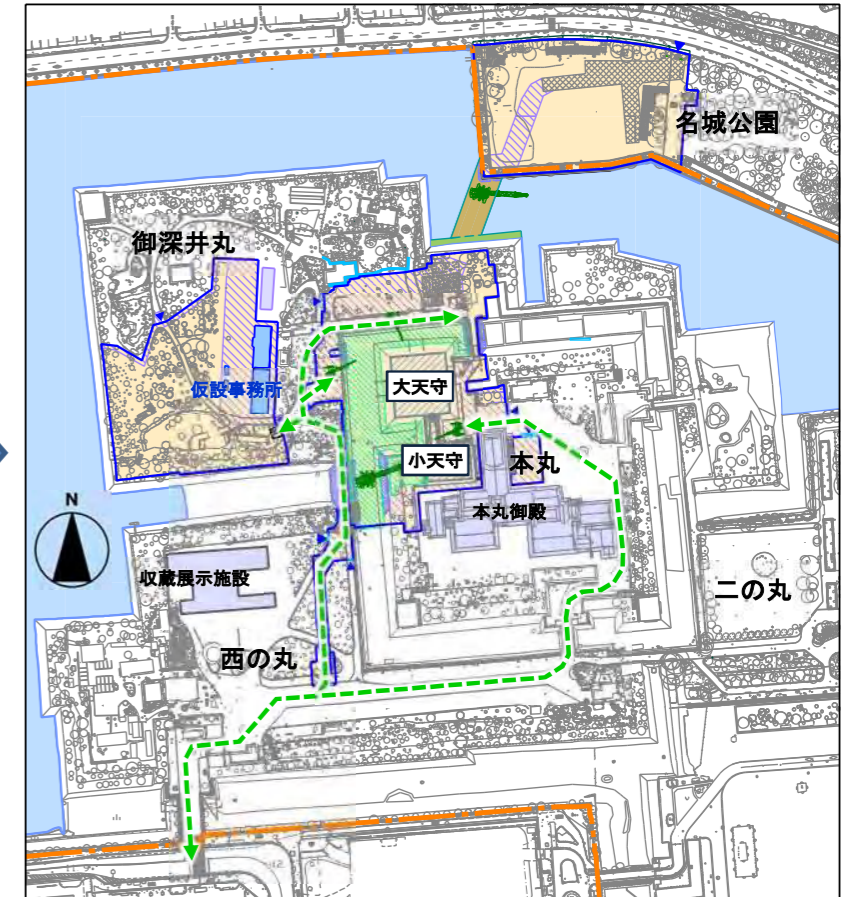
なお、臨時で昼間の搬入が必要となる場合、車両は4tトラック以下とし、誘導員が道中誘導するものとする。



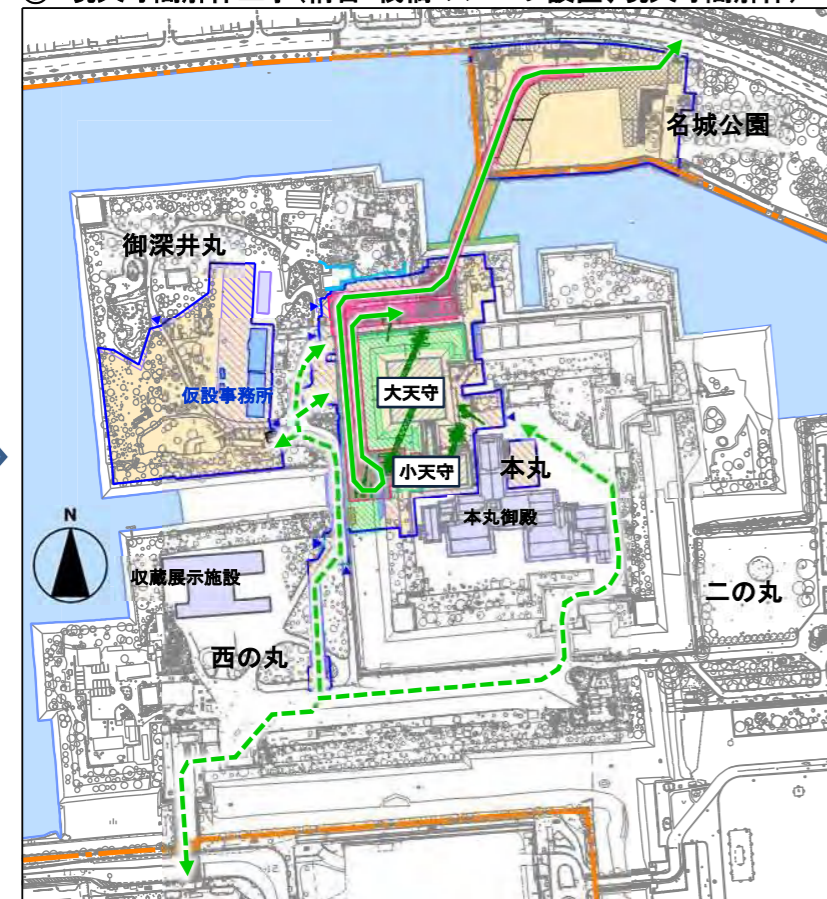
① 現況



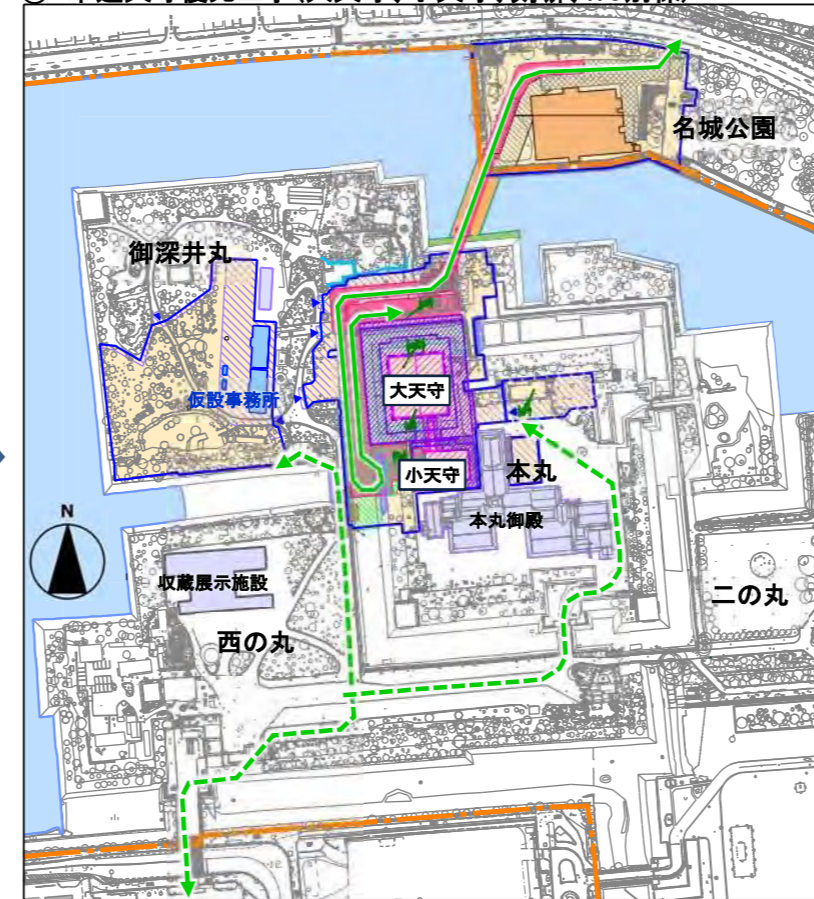
② 仮設工事(敷地養生、仮囲い、埋戻し、樹木伐採等)



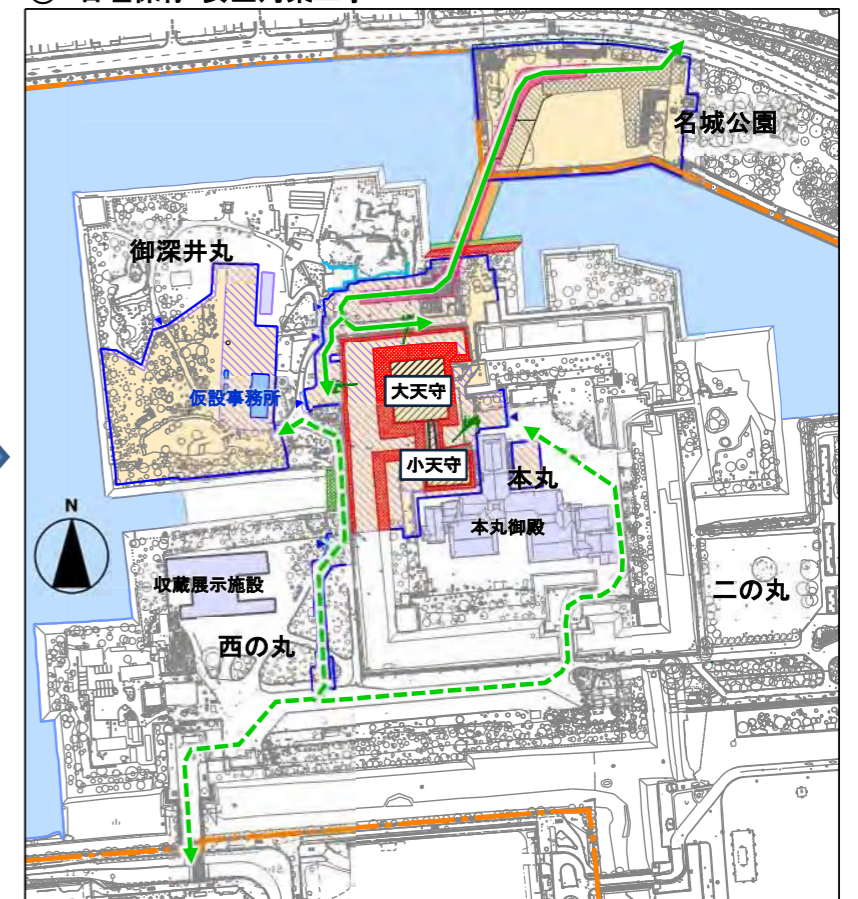
③ 現天守閣解体工事(構台・栈橋・スロープ設置、現天守閣解体)



④ 木造天守復元工事(大天守、小天守、剣塀、WC別棟)



⑤ 石垣保存・安全対策工事

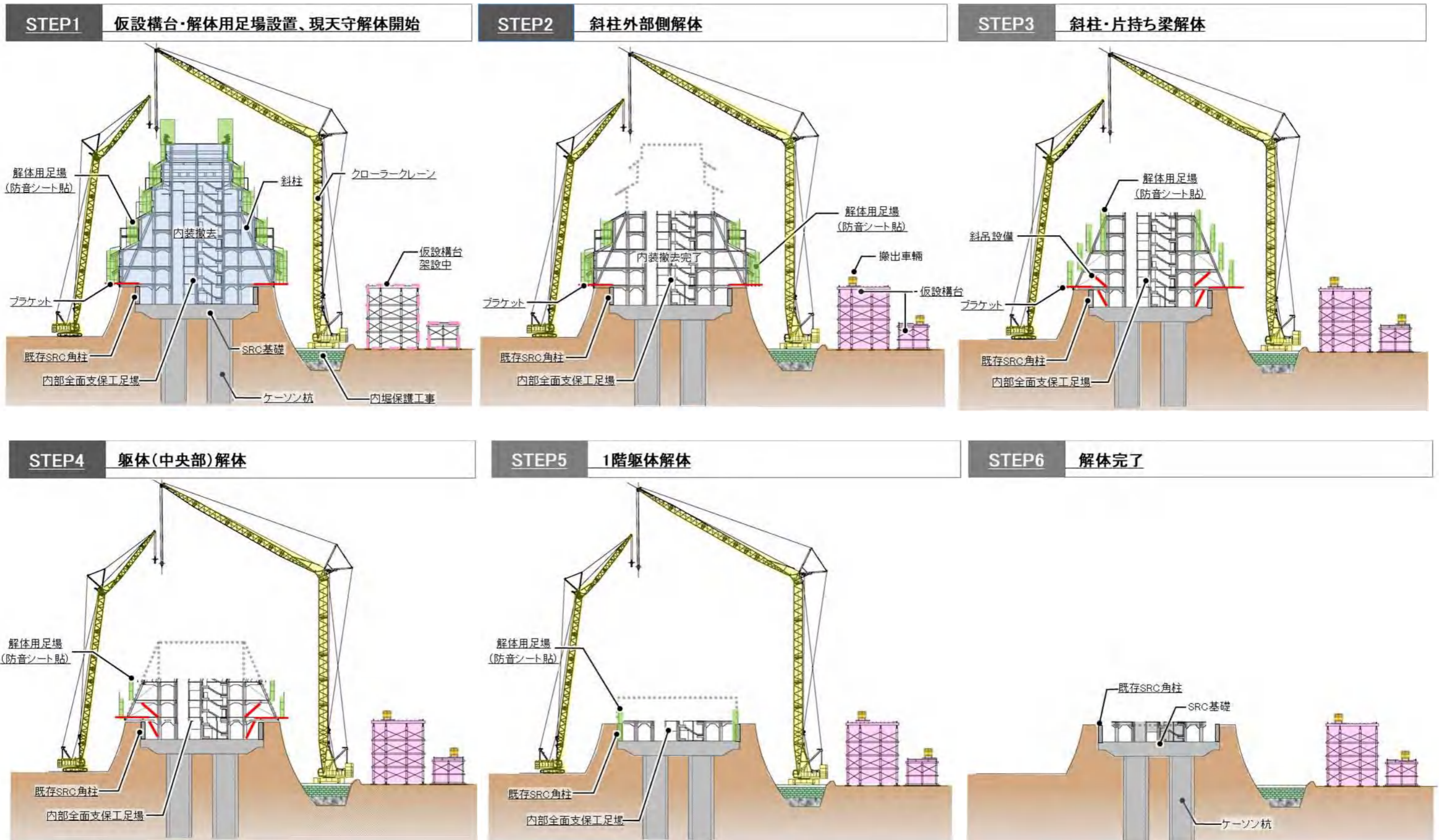


図(資)-7.1.1 工事動線の推移

(2) 現天守閣解体方法

■ 大天守地上部解体の手順(ステップ図)

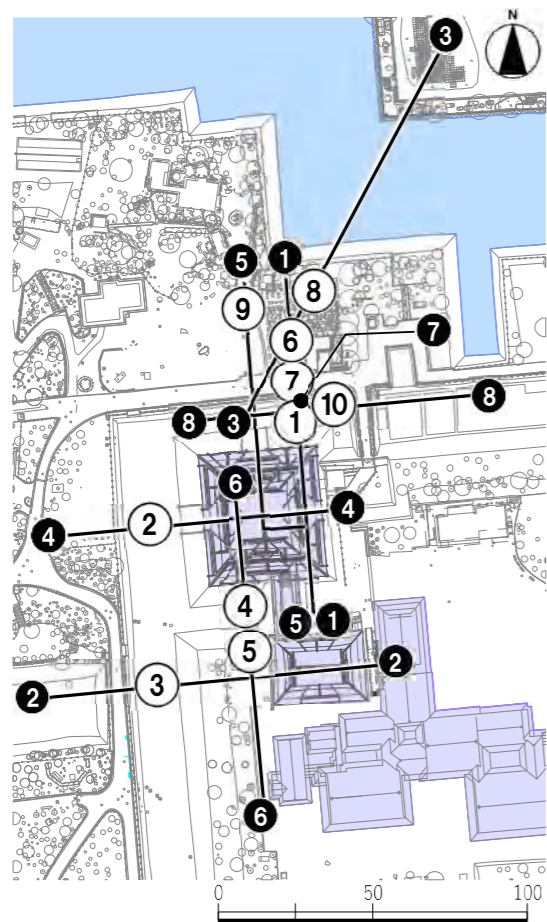
大天守閣の地上部の解体手順をステップ図で示す



図(資)-7.2.1 現天守閣解体工事の手順(地上部)

(3) 仮設物設置による石垣等遺構への影響検証

① 石垣等遺構への影響の解析結果



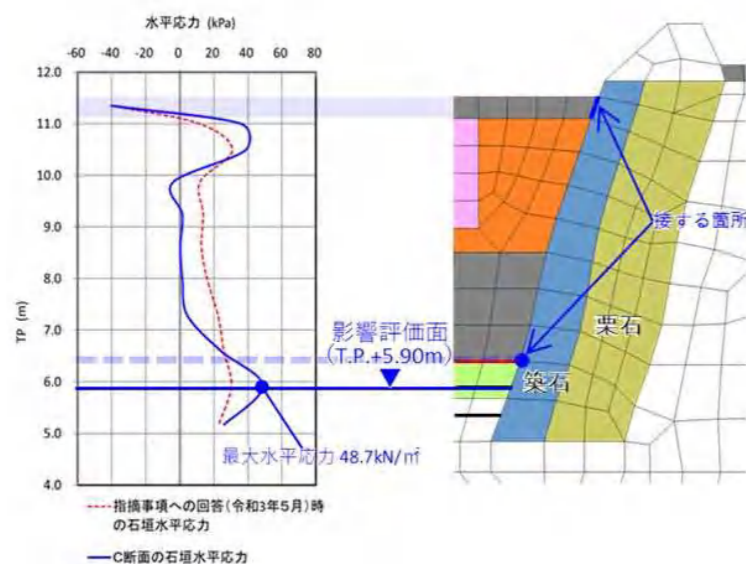
- 【解析断面位置】
- ① 本丸-大天守台-御深井丸(礎石展示場所)
 - ② 小天守台-小天守台西-内堀-鶴の首-外堀
 - ③ 御深井丸(礎石展示場所)-外堀-名城公園
 - ④ 御深井丸-内堀-大天守台
 - ⑤ 本丸-大天守台-内堀-御深井丸(茶席)
 - ⑥ 本丸-小天守台西-内堀-大天守台
 - ⑦ 非接触工法(大天守-内堀-御深井丸)
 - ⑧ 内堀(御深井丸)-土橋-内堀(本丸)
- 【最大鉛直応力照査位置】
- ① 大天守北側内堀
 - ② 大天守西側内堀
 - ③ 小天守西側内堀
 - ④ 小天守・大天守間内堀
 - ⑤ 小天守台西
 - ⑥ 御深井丸(礎石展示場所-構台)
 - ⑦ 御深井丸(通路)
 - ⑧ 御深井丸(礎石展示場所-棧橋)
 - ⑨ 御深井丸(茶庭部)
 - ⑩ 不明門北土橋西側内堀

図(資)-7.3.1 解析断面位置と最大鉛直応力照査位置

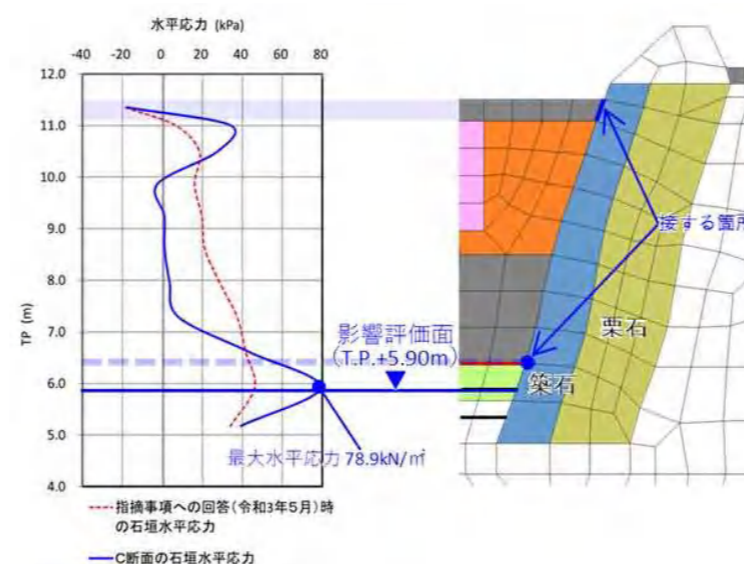
表(資)-7.3.1 各地点における影響評価面に働く仮設物設置の最大荷重と許容地盤支持力の一覧

区 分		最大鉛直応力 (kN/m ²)	許容地盤支持力 (kN/m ²)	
① 大天守北側内堀	解体時	61.3	667.1	
	復元時	106.4	667.1	
② 大天守西側内堀	解体時	69.0	746.7	
	復元時	109.7	746.7	
③ 小天守西側内堀	解体時	85.0	702.5	
	復元時	85.0	702.5	
④ 小天守・大天守間内堀	解体時	46.4	963.2	
	復元時	87.2	963.2	
⑤ 小天守台西	解体時	55.5	291.2	
	復元時	76.5	253.8	
御深井丸	礎石展示場所	⑥ 構台 解体時	62.1	165.5
		復元時	62.1	165.5
	⑧ 棧橋	解体時	52.1	149.3
		復元時	52.1	149.3
⑦ 通路	解体時	70.7	123.2	
	復元時	120.9	123.2	
⑨ 茶庭部	解体時	89.4	103.3	
	復元時	89.5	103.3	
⑩ 不明門北土橋西側内堀	解体時	95.3	702.5	
	復元時	91.4	702.5	

② 内堀保護工の非接触工法と石垣等遺構への影響の解析結果



図(資)-7.3.2 現天守解体時の石垣側の水平応力グラフ



図(資)-7.3.3 木造天守復元時の石垣側の水平応力グラフ

表(資)-7.3.2 非接触工法における石垣部水平応力の最大値

区 分	石垣部水平応力 最大値 (kN/m ²)
現天守閣解体時	48.7
木造復元時	78.9